

収支計算書に対する注記

1. 資金範囲

資金の範囲には、現金、普通預金、仮払金、未収金、前払金、仮受金、預り金、前受金、未払金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の円 (円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	268,013	276,678
普通預金	31,431,840	36,275,554
仮払金	6,735	0
未収金	77,000	5,000
前払金	398,320	432,520
合計	32,181,908	36,989,752
預り金	82,020	65,340
仮受金	0	13,800
前受金	4,743,184	4,729,551
未払金	0	0
未払消費税	3,044,100	1,960,600
合計	7,869,304	6,769,291
次期繰越収支差額	24,312,604	30,220,461

財務諸表に対する注記

重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 定率法を採用しております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
什器備品・・・5年～8年

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当事業年度における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	2022.3月末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給与積立預金	40,569,047	5,000,642	3,600,000	41,969,689
合計	40,569,047	5,000,642	3,600,000	41,969,689
その他資産				
運営安定準備預金	16,831,419	282	0	16,831,701
合計	16,831,419	282	0	16,831,701

基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

科目	2023.3月末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給与積立預金	41,969,689	0	(41,969,689)	(41,969,689)
合計	41,969,689	0	(41,969,689)	
その他資産				
運営安定準備預金	16,831,701	0	(16,831,701)	
合計	16,831,701	0	(16,831,701)	

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	643,300	643,298	2
敷金	960,000	768,000	192,000
合計	1,603,300	1,411,298	192,002